

日 時 : 2015年10月21日(水) 13:00 ~ 17:00
場 所 : 塗料報知新聞社 会議室
出席者 : 副分科会長:内山貴織(東和酵素(株))、高橋大(株三王)
幹 事 : 平野克己(日本塗装機械工業会)、石井信行(大塚刷毛製造(株))、
稲田建(株花菱塗装技研工業)、魚谷英未(株アースクリーンテクノ)
相 談 役 : 福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)
アドバイザー:片山眞司(J&Sエンジニアリング(株))、
藤井俊治(株三菱化学テクノロジー)
ゲ ス ト : 須田威志、桐山雅光(株豊田自動織機)、
高畑和幸((有)シーティータカハタ)、塩森篤博(株岡久)
望月徳三(東京ガスケミカル(株))、吉野和彦(株明治機械製作所)、
高橋善之(大塚刷毛製造(株))、望月徳三(東京ガスケミカル(株))
小林利紀(日本シービーケミカル(株))、白石公郎((株)サトー)、
毛利昌康(株ディライト)、新井俊広(埼玉県環境部大気環境課)
事 務 局:藤井謙二郎(塗料報知新聞社)

22名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 副分科会長挨拶 (内山)

今回は分科会長の窪井氏は所用により欠席となりますので、副分科会長の私が司会を務めさせていただきます。

2. 初参加者挨拶

(株)豊田自動織機 生産技術部溶接塗装技術 G GM 桐山 雅光

3. 議題

3-1 IPCOからのお知らせ

① IPCO入会者の件(塗料報知 藤井)

本日まで団体・企業・個人14名の参加お申込みをいただいた。入会申込書はIPCOホームページから取得できるので、記入のうえで事務局にご送付願いたい。

会費は、申込書記載の通りだが、今期のみ半期を経過しているので、半額としている。

② セミナー報告

九州セミナー(稲田)

今回で第7回目となる九州工業塗装協同組合セミナーは、IPCOに講師派遣を依頼し、毎年助成金等々でお世話になっている宮崎県中小企業団体中央会のある宮崎市宮日会館において9月14日(月)に開催された。セミナーには、九州管内はもとより、遠くは岡山からの参加もあり、総勢50名(講師含)40社の参加となった地元自動車部品メーカーを始め、会員企業外からも多くの企業に参加いただいたことにより、今後の組合員拡大につなげていければと願っている。宮崎県内企業の参加としては、組合会員企業2社、組合外企業10社から、16名の参加者であった。以下、アンケート結果より。

参加者業種は、工業塗装業が34%、製造業が24%、塗料販売業が18%。

参加動機は、工業塗装の動向の情報収集、塗装設備関連の情報収集、最新技術の情報収集、新静電塗装の情報収集、それぞれがほぼ1/4ずつに分散された。

今回は半日で5講演ということで1講演あたりの時間が短く詰め込んだ感があった。半日開催で

あればテーマを減らし時間をたっぷり取ったほうが参加者の理解が増したのかもしれない。
セミナーとは別に九州工業塗装協同組合では田村氏をリード役として塗装技術研究会を立ち上げた。第1回が7月23日に行われその報告がされた。

北海道セミナー(高橋)

日本パウダーコーティング協同組合北海道支部主催で「工業塗装技術セミナーin北海道」が10月2日(金)、札幌にて開催された。今回は準備期間が短く、中小企業団体連合会との連携ができず、周知期間も不足したが、参加者のアンケート結果は好評で今後毎年開催することとする。
以下、アンケート結果より。

参加者は21名、内訳は塗料メーカー1名、塗料販売店9名、塗装業者11名。

参加動機としては最新技術の情報収集が32.1%と最も多く、工業塗装業界動向の情報収集28.6%、塗装設備関連の情報収集25%、新静電塗装の情報収集14.3%の順。毎年開催の希望が出されるなどセミナー全般に好評であった。

近畿 VOC セミナー／中国(海外)VOC セミナー(平野)

環境省や東京都は年に2~3回はセミナーを開催。地方は経済産業局が中心となってセミナーを継続。今回、近畿経済産業局は9月14日(月)に開催。12月・1月は広島と岡山で開催される。講演内容は具体的な現場での取組みを中心に。

また、中国でも、来年VOCの法規制が改正されるのにあわせて、10月27日(火)にセミナーを開催。日・中・韓での勉強会の一環で、内容は塗装ならびに洗浄に関連したVOC。双方ともIPCOは具体的な情報提供で、海外を含めて役立てればよいと思う。中国での講演内容の披露があった。

③ セミナー・展示会計画進捗(魚谷)

日本海セミナー(魚谷)

11月21日(土)13:00~17:00 福井県鯖江市の越前漆器伝統産業会館で開催する。

参加予定者 50名

漆器組合主催で今回は福井県内の方々向けに地域を絞るので、正式名称は「in 鯖江」とする。対象は工業塗装(主にメガネ)の経営者、スプレーマン、漆器関係の企業。講演者は下記を予定。窪井(IPCOの紹介と挨拶を兼ねて)、片山、田村、吉野、坂井、魚谷
今後も日本海セミナーはレギュラーで続けていくこととする。

先端表面技術展(ASTEC)2016 出展(高橋)

昨年に引き続き出展。会期:来年1月27日(水)~29日(金) 会場:東京ビッグサイト
理工出版社の共同ブースが全部で8小間あり、そのうち2小間を使う。

前回は参加企業の紹介という形で展示したが、今回は定款作成、独自HP作成など会としての形態も整ってきたので、IPCO紹介を中心にパネル展示をして、その周辺に参加企業と製品群を展示する。ブース中央では、今年分科会でプレゼンテーションされた製品の簡単な実演も行う。

以下、例として。

サトー:デジタルトラッキング

シービーケミカル:ジルコン皮膜・薬液の現物

大塚刷毛:環境対応・ゴミブツ関連

明治機械製作所:何か新しいもの

東京ガスケミカル:ドライアイスによるコールドジェット

豊田自動織機:環境への取り組みなど

3-3 プレゼンテーション

① サトー デジタルマーク(白石)

新型の認証ラベルを利用した生産工程の管理:新自動認識技術 デジタルマークの紹介。
近日中に小泉塗装工業所で試験を開始予定。

サトーは自動認識システムのメーカーで、様々な分野で「情報とものを一致させる」ことを目指す。塗装の現場では、汚れにより従来のバーコードなどの技術が使用できない。そこで、新技術により、洗浄・乾燥・塗装・250℃で30分の焼付乾燥を経た被塗物の固有識別を行い、以下の作業性向上を目指す。

- 1.一連の作業の効率化、省力化・正確さ・経験に頼らない作業・運用基準の確立
- 2.事務の合理化 数の正確性、生産計画、翌日の生産計画、事務処理の合理化
- 3.塗装工程進捗管理の自動化、随時経過報告と自動化の状況を報告

今後も、小泉塗装工業所での試験の経過報告を行う。

② 豊田自動織機 IPCOと共有したい工業塗装分野の課題解決(須田)

自社塗装工程で、下記の課題解決を IPCO で共有したい。

- 1.品質・化成皮膜処理レス工程の塗装付着性向上と安定化
- 2.環境・水性塗装ブースの塗料回収、排水処理、リサイクル(ゼロエミッション化)
(法令順守に留まる「他律的ZE」→工業塗装業界での垂範的な「自律的ZE」)
- 3.安全・低引火シンナー洗浄の火災リスク低減改善
(法令順守に留まる火災リスク低減→工業塗装業界で垂範的な火災リスク低減)

3-4 海外技術情報(片山)

SURCUR(フランス)にて公表された技術「BMBF PROJECT2010」を一部紹介した。

3-5 CONAFES2015 案内(高橋)

(株)三王が創業 50 周年を記念してイベントを開催。

日程:11月6日(金)12:00~18:00、7日(土)10:00~18:00、8日(日)10:00~15:00

会場:三王 粉体事業所

概要:①塗装機器メーカー多数出展 ②内外講師によるセミナー ③「コナール」新色発表 ④粉体塗料工場見学など

3-6 リスクアセスメントについて(藤井)

厚労省は中小企業の業態にあったリスクアセスメントを作ろうとしている。

業種は塗装・印刷・めっきで、塗装については業種全体の活動をカバーするため工塗連と相談しながら進めている。IPCO では坂井秀也氏がメンバー。この他にも東京工業塗装協同組合の林正明理事長も参加。

塗料の特許の体系化がすすめられており、IPCO メンバーの奴間伸茂氏が委員長。

今年は中国から出ている塗料の特許の調査で、調べると3万5千件出ている。

3-7 配布資料について(塗料報知 藤井)

東京都環境局環境改善部化学物質対策課の小川智江氏より、「平成 27 年度化学物質対策セミナー 資料一式」ならびに「化学物質のリスクアセスメント支援のご案内」をお預かり。

前者は豊田自動織機 須田氏へお渡しして、後者は全員にお配りした。

※次回分科会開催予定

第 14 回環境技術分科会 2015 年 12 月 17 日(木) 13 時 ~ 17 時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————